

提供日	令和 8 年 7 月 17 日 (金)
タイトル	災害時におけるインスタントプロダクツの供給に関する協定を締結します ～最短1時間で設営可能な「インスタントプロダクツ」を活用し、避難所環境の改善と市の災害対応力を強化～
内容	本市は、株式会社LIFULL ArchiTechと、「災害時におけるインスタントプロダクツの供給に関する協定」を締結いたします。 ■■ 協定締結式 ■■ 日時：令和8年7月28日火曜日 午前11時開始 場所：阪南市役所 2階応接室 本協定締結により、災害発生時及び発生の恐れがある際に、断熱性・居住性に優れた「インスタントハウス」とダンボール製の「インスタントルーム」などの迅速な供給体制を構築し、市民の皆様の安全と安心の確保、及び質の高い避難環境を提供します。 【インスタントハウスの主な特徴】 東日本大震災の被災地支援をきっかけに、名古屋工業大学大学院（北川啓介教授）の研究とLIFULLの産学連携により開発された新しい居住空間です。
担当者コメント	近年、全国各地で自然災害が激甚化・頻発化するなか、発災時の迅速な避難スペースの確保や、避難生活におけるプライバシー保護、暑さ・寒さ対策など「避難所環境の質の向上」が重要な課題となっています。 阪南市においても防災力の強化を進める中、最短1時間以内で設営でき、優れた断熱性を持つ「インスタントハウス」を展開するLIFULL ArchiTech社の技術とノウハウに着目しました。 本協定を通じて、有事の際のスムーズな供給ルートを確立し、市民の命と健康を守る災害に強いまちづくりを推進します。
添付資料	プレス提供資料【インスタントプロダクツ】
担当課	阪南市 総務部 危機管理課 担当：新田 恭子 直通電話：072-489-4503 代表電話：072-471-5678（内線2322） FAX:072-473-3504 kiki-kanri@city.hannan.lg.jp

Instant House

Concept
コンセプト

どこでも、すぐに、
住みたくなる心地よさ。

帰りたい景色に、住もう。暮らしたい土地で、過ごそう。
それは、住宅をもっと自由にする、これまでにない建てかた。
あらゆる場所にたった数時間で、ぬくもりの空間を。



インスタントハウスは、 被災者の声から生まれました

2011年3月の東日本大震災の一ヶ月後に、宮城県内の小学校の体育館の避難所を案内してくれた小学生が、大きな運動場を指さして

「あそこに仮設住宅が建つまで、半年から1年もかかるんだって。こんなに寒い避難所での集団生活をそんなに長くって、あんまり考えられないよ。もっと早く建てられないのかな。」

建築の専門家の一人としてこの一言に衝撃をうけ、その日から研究を開始しました。



協定締結・自治体様導入実績

協定により、平時から有事まで多面的な支援を実施。

平常時からグランピングや地域の交流拠点としてインスタントハウスを市民が利用し、有事の際には即座に避難用途へ転換できる体制づくりを行っています。



西尾市



矢板市



大野市



猿払村



南丹市



室戸市



- ・ 災害時のインスタントハウス供給
- ・ 防災訓練・防災教育の実施
- ・ インスタントハウス利活用を通じた地域活性化

- ・ インスタントハウス利活用を通じた関係人口創出
- ・ インスタントハウス技術応用による空き家等の地域資源再生・有効活用 など

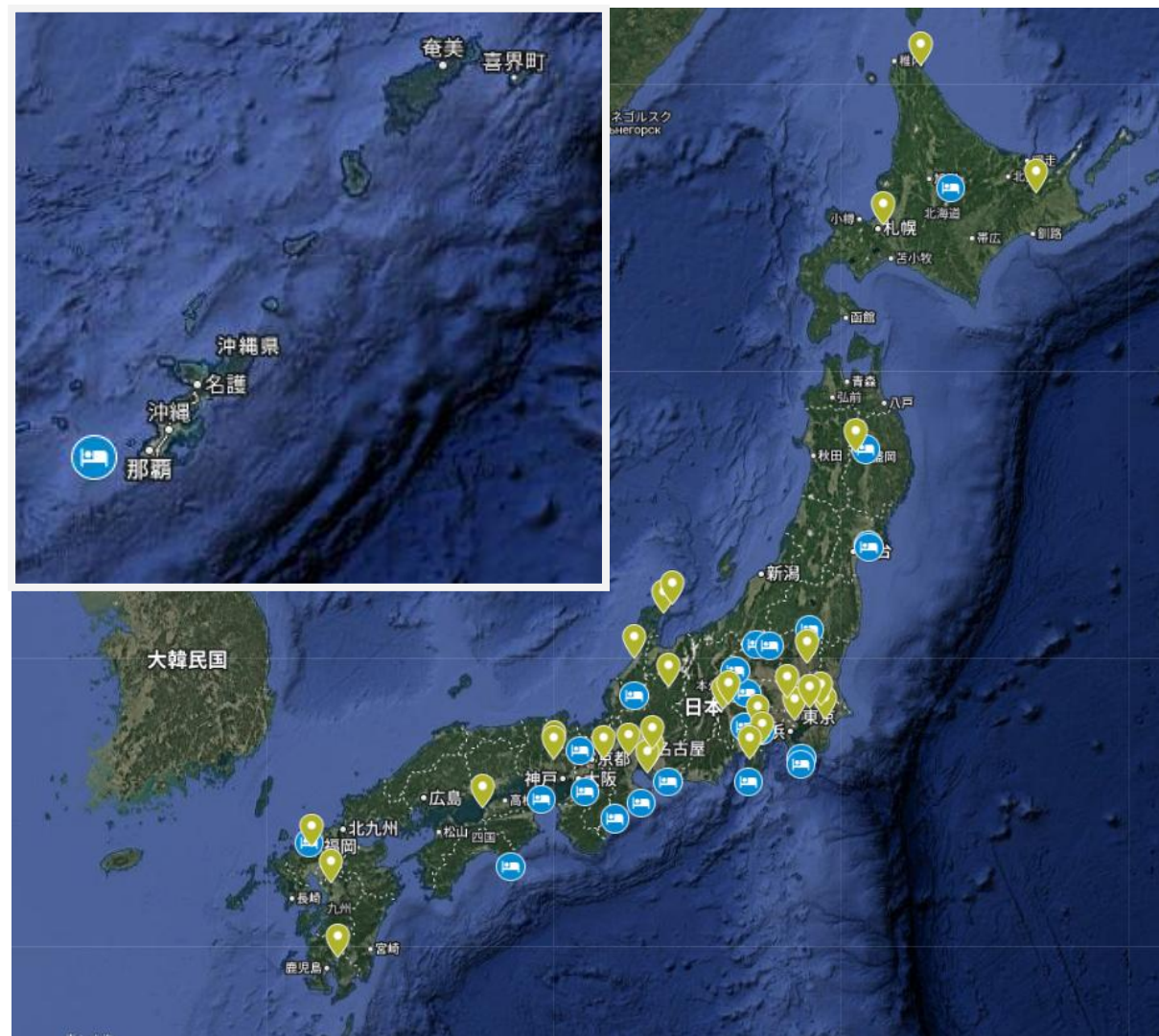
国内外での導入実績

国内販売 約200棟

国内・海外の災害支援で1千棟以上※

※名古屋工業大学からの寄附を含めたインスタントプロダクト全体

▼国内では北海道から沖縄まで全国各地で販売



被災地支援実績（能登半島地震）

能登町立鶴川小学校 福祉職員よりコメント

「寒さもしのげるので避難所よりも負担は減ると思う。本当におうちみたい」
「いったん子どもたちの遊び場に解放したけど、子供達が秘密基地っぽくワクワクしてた」
「これ、めっちゃイイ」「もっと早く欲しかった」「まだあるなら、欲しい」

避難生活にほっとできる空間を インスタントハウス、発泡スチロール製シェルター 優れた断熱性

2024年1月15日 16時00分（1月15日 17時05分更新）



中日新聞 2024年1月15日

株式会社LIFULL プレスリリース 2024年1月15日

【令和6年能登半島地震】LIFULL、最短1時間で組み立てられる「インスタントハウス」をシェルターとして能登町に提供

集団生活が困難な方のケアや衛生環境・プライバシーに配慮したサポート空間としての活用を想定

株式会社LIFULL 2024年1月15日 12時00分



能登半島地震が起き1月3日から被災地に入り、避難者のニーズを調査しました。

避難者数は現在石川県だけでも約2万4000人になっており（1月11日現在、石川県調べ）。避難所では低体温症など震災関連死のリスクが高まっています。

インスタントハウスを設置した翌日には外気温-2度の大雪で、避難所から体調不良を訴え病院に搬送される高齢者の方が多く見られました。

今回寄贈したインスタントハウス・バレル型はコンパクト、軽量化で輸送、組み立てが簡単であるため体育館や校庭など避難所のスキマのスペースに約1時間で設置することが可能です。断熱材の壁に囲まれた内部では1〜2名が横になれるため、看病が必要な方をケアするシェルターになると共に、感染症の蔓延予防の役割を担います。



インスタントハウス・バージュ型は小学校の駐車場スペースに設置し、避難所の共有スペースとして子どもたちの憩いの場となりました。15㎡の広さと4mの天井高の特徴から、5〜10名が談話したりカーペットを敷いて寝転がって遊んだり、ゆっくり寛げる空間になります。今後仮設住宅への移行が進むまでの間、避難所での生活が少しでも暖かく、ほっとできる空間として役立てられることを切に願います。直近では珠洲市の避難所への設置も決定しました。量産体制を整え、より多くの被災エリアへ設置できるよう進めて参ります。

一方で、中長期的には能登半島の素晴らしい自然を活かした観光地としての経済復興も重要となってきます。インスタントハウスはどんな自然環境の中でも「夏は涼しく、冬は暖かく、静かに眠れる」という特徴から、現在、国内グランピング領域において100棟以上の実績があります。平常時は能登の自然を感じられる宿泊用として、地震や風水害時の避難用として役立てられる、備えない防災「フェーズフリー」としても展開していきたいと考えています。

被災地支援実績（海外）

■ トルコ・シリア大地震



ピースウィンズ・ジャパンと連携
避難所の簡易住宅としてインスタントハウスを設置

- ・ 支援を必要としているアンタキヤ市の公的施設の敷地内に設置。
- ・ 現地で復興業務を行っているアンタキヤ市のスタッフ、関係者のワークスペース兼宿泊スペースとして活用。

■ ミャンマー大地震

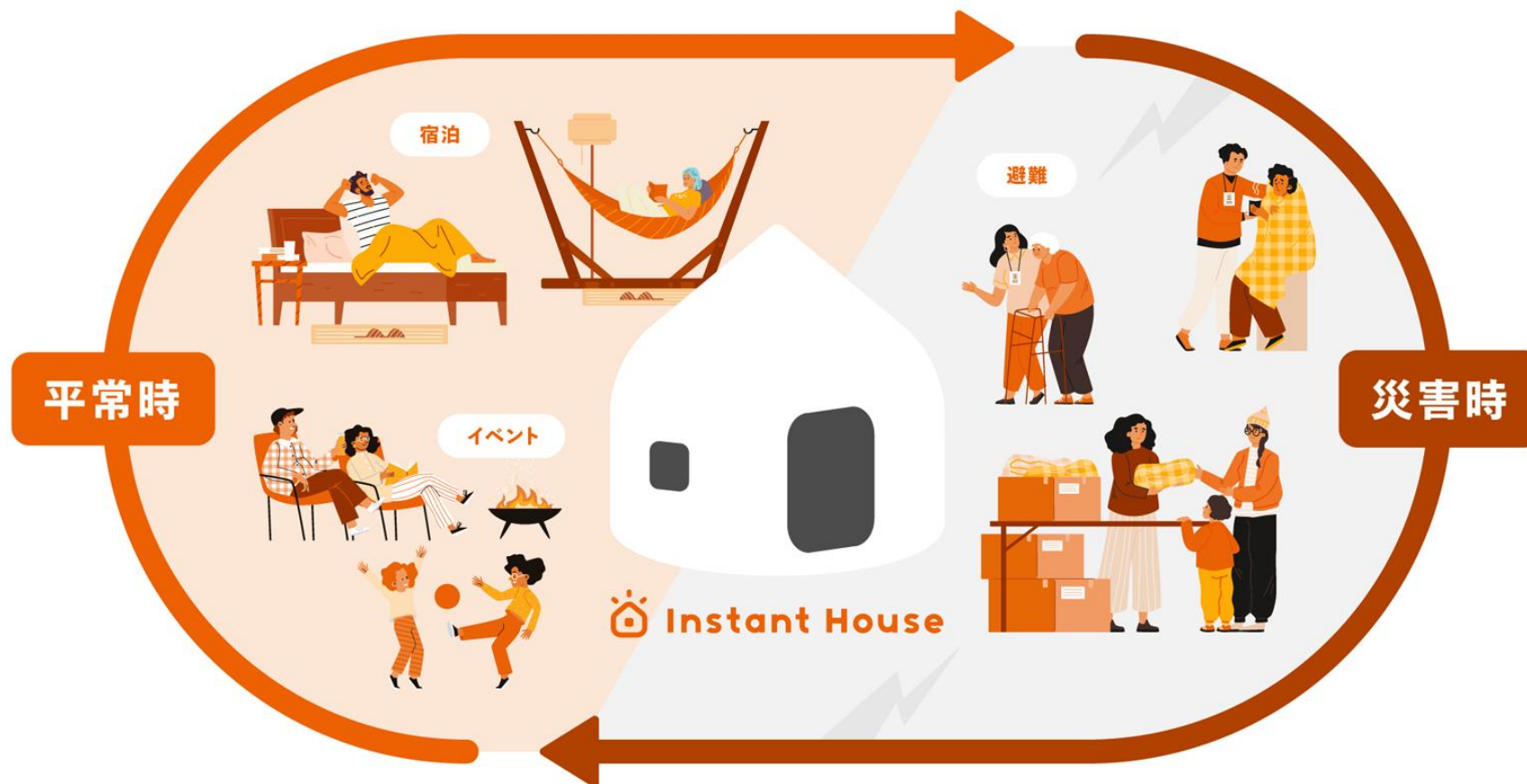


ダイヤモンド・レンタル・ミャンマー株式会社と連携
被災地に「インスタントハウス」を試験導入

- ・ ティラワにて「インスタントハウス」の技術検証を実施
- ・ 現地の高温多湿な気候環境や、設営に必要な人員・資機材の検証を行い、施工性、耐候性、居住性のいずれにおいても日本国内同様に高い適応性を確認。
- ・ 今後は、ミャンマー国内の支援団体と連携しながら、より実用的な形での導入に向けたステップを進めていく予定

フェーズフリー活用への取り組み

短時間で分解・組み立て・移設ができ、快適性に優れるインスタントハウスの特徴を活かし、平常時から防災教育・地域交流の場として市民に認知・活用されることで地域の防災意識を高めながら、災害時には即時に避難場所や支援拠点として活用できるフェーズフリー型防災の整備が可能です。



インスタントハウスの特徴

つくる

基本的に2ステップです

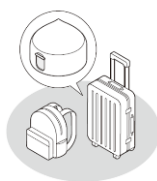
1. 気球のように空気膜を膨らませます
2. 膨らませたまま、内側から断熱材を吹き付けます

1 敷地決定・搬入・開封

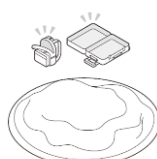
運動場でも、芝生上でも、お庭でも、筏の上でも、まずは設置する敷地を決めます



膜は、畳むと小さくなり、リュックやスーツケースに入れて人手で運べます



リュックやスーツケースから、膜と道具を取り出します



2 膨らまし・地面留め・断熱材チェック

膜に空気を送って膨らませます
空気で自動的に大きくなります



運動場には大きなネジを、ウッドデッキには小さなネジを使い分けて、電動ドライバーで1人で15分ほど留めます

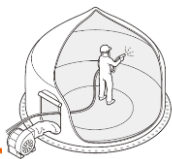


ハウスの外で断熱材を試しに吹きつけてみて、材質などをチェックします

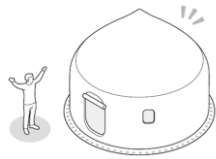


3 断熱材吹き付け・仕上げ

ハウスの内側に入って、膨らませた膜に向けて、上下左右に、まんべんなく断熱材を吹き付けます



お好きなところに窓と出入口扉を開けて、風雨を返すパーツを取り付けて、完成！

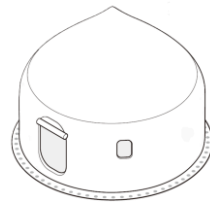


つかう

性能



耐風
風速80m/s
風洞実験済



耐震
震度6強の地震
倒壊しない



耐雪
屋根上積雪40cm

移動



運んで移動



分解して移動して組立て

室内環境

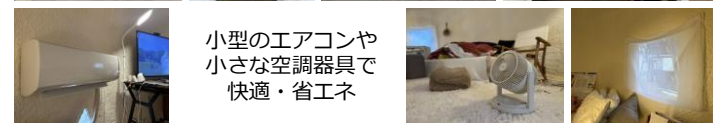


つかいこなす

インスタントハウスは
キャンパス
飾り付けたり
絵を描いたり
お気に入りの
ドアや窓を付けて



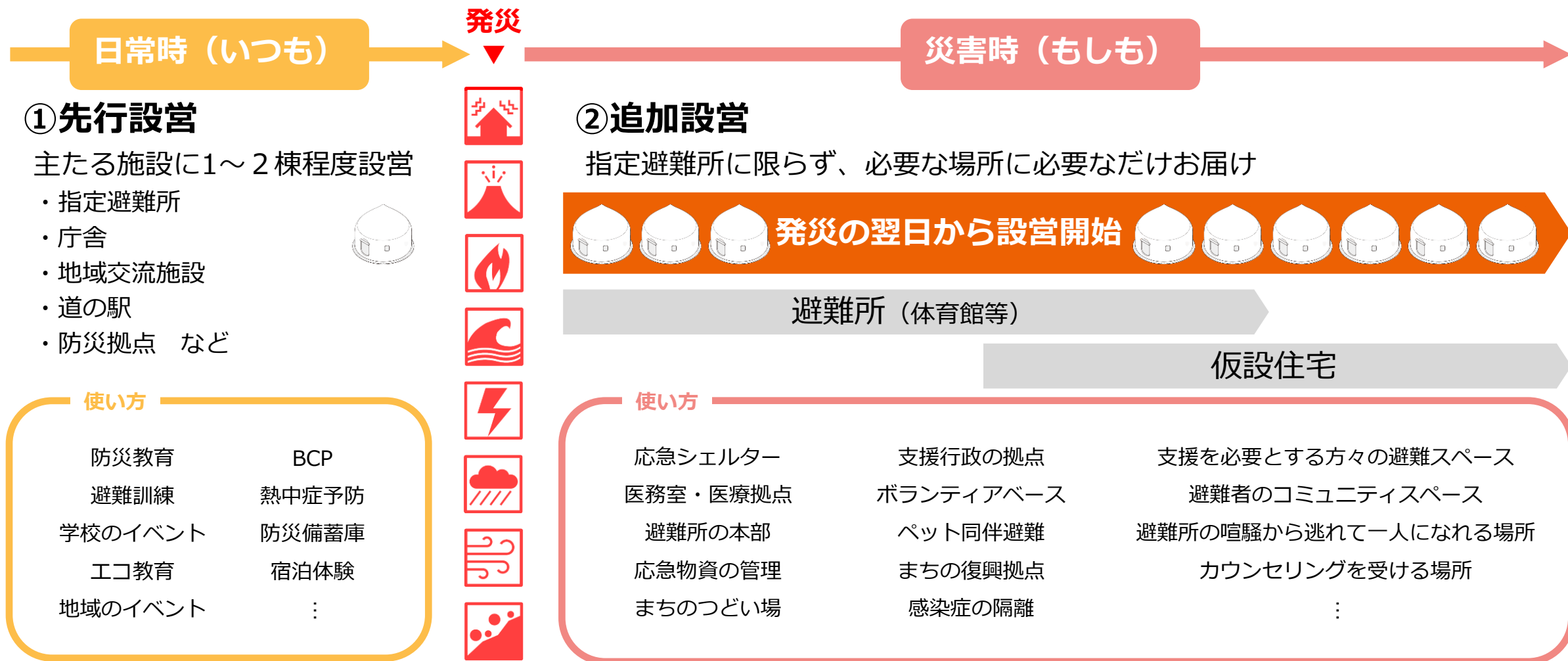
小型のエアコンや
小さな空調器具で
快適・省エネ



好きな椅子やテーブルを置いたり
オーナメントを吊ったり
棚を作ったり
壁を立てたり
シャワーブースやお風呂も



理想のフェーズフリー



日常時に普段使いで利用できることに意義あり 無意識のうちに使用方法を学べる、防災準備活動となる

先行設営により、住民の方々にインスタントハウスの特性を認識していただきながら有効活用（日常から無意識な防災認知）

非常時は先行設置分を即使用可能

さらに追加設営で被災地のニーズにタイムリーに対応

非常時（もしも）での使い方

非常時（もしも）の数日

能登半島での実例

非常時（もしも）の数か月

その他

応急シェルター

被災者



指定避難所へ行けない方の避難場所
あたたかく・涼しく・安心して、足をのばして眠る場所の確保が困難な方の応急シェルター

医務室・医療拠点

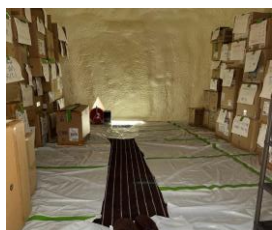
医療従事者



指定避難所●
感染症医務室
グループホーム
高齢者福祉施設の職員の宿泊を含む拠点
まちの病院
透析処置スペース

避難所の本部
応急物資の管理

被災地の行政



指定避難所の中学校●
行政職員をはじめ避難所本部運営チーム・学校教職員の宿泊を含む拠点
資材倉庫・医療倉庫

まちのつどい場

子ども・おとな



指定避難所の小学校●
子どもの遊び場
指定避難所の中学校●
児童・生徒の半屋外体育場
神社の境内
子どもの遊び場

支援行政の拠点
ボランティアベース

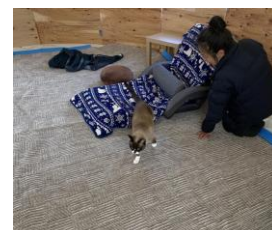
他地域からの支援者



指定避難所の中学校や施設●
他域支援行政職員・医療専門家・公社・NPOをはじめ支援運営チームの宿泊を含む拠点

ペット同伴避難

被災者・ペット



宿泊施設・キャンプ場
指定避難所に入れなかったペット同伴避難者の避難所

まちの復興拠点

まちの住民



駅前広場
休憩・くつろぎ場、コワーキングスペース、イベントスペース、緊急避難場所、短期宿泊所など、自由に使用できるフリースペース
まちの住民の庭先
まちの自治や復興のための集会所・公民館

支援を必要とする
方々の
避難スペース

避難者の
コミュニティ
スペース

避難所の喧騒から
逃れて
一人になれる場所

カウンセリングを
受ける場所

感染症の隔離
インフルエンザ
ノロウイルス
コロナウィルス

授乳スペース

着替えスペース

建物損傷などで
運営ができない
行政窓口や
営業ができない
店舗の
仮設スペース

日常時（いつも）での使い方

日常時（いつも）の学校

国内外での実例

日常時（いつも）の地域

防災教育

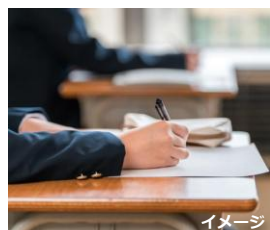
小・中・高校生



公立中学校 ● ・私立中学校
インスタントハウスを活用した探究学習プログラムを実施
防災クラブの活動室兼部室
防災拠点として活用

エコ教育

小・中・高校生



公立中学校 ● ・私立中学校
省エネ効果の高いインスタントハウスを活用して、夏場と冬場の電力の消費量を計測し工夫を発表

学校のイベント

子どもから高齢者



公立中学校 ● ・私立中学校
運動会・週末レクリエーションなどでの父兄や関係者の休憩所

避難訓練

地域住民・消防団



指定避難所の公共施設 ●
実際の避難場所に加えて駐車場や広場などを活用して、復旧時の状況変化に柔軟に対応する力を要請

地域のイベント

地域住民



公共広場・公共施設
広い屋内外の空間を計画的に使用できるよう、屋内外の動線や非常口周辺を考慮した現実的な避難行動の修得

休憩スペース 熱中症予防

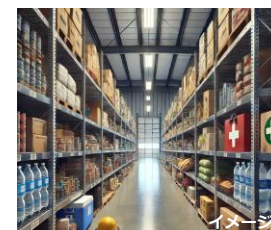
町内会・PTA
地域住民



道の駅・公園・グラウンド
見守りながらくつろげる休憩スペース

防災備蓄庫

行政・企業
BCP事業者・消防団



防災備蓄庫
日常時は備蓄倉庫として
非常時は避難シェルターとして
地域住民へ解放
発災時に近隣の住民への物資の配布

宿泊体験

観光客



キャンプ・グランピング施設
行政所有のキャンプ場の運営を民間に委託
日常時はインスタントハウスの使用体験
非常時には市の避難施設として活用

過酷な集団避難生活を変える インスタントルームも

災害で家を失った人が、過酷な避難生活を強いられる現実があります。屋内で使える段ボール製のインスタントルームは、2024年1月の能登半島地震の被災地で実際に活用され、プライバシーを確保して安心して過ごせる生活空間、授乳室や着替え室、子どものおむつ替えスペースとしても活躍しました。

窓の割れた極寒の体育館で避難生活をしていた3歳の子が「おうちができた」と喜んでくれました。



インスタントルーム

目指すのは避難所生活における快適な居住空間の提供

インスタントルームは、ダンボールの多層構造を活かしたプライベート空間です。断熱性・遮音性・プライバシーの保護において高い性能を実現し、避難者一人ひとりに安全で快適な空間を提供します。また、個室化による隔離機能で感染症を予防し、簡単な組立てや形状変更によって避難所の状況に合わせた柔軟な運用を実現します。これらによって、冬季の避難所における居住性と行政の運用効率を劇的に向上させ、避難所生活における身体的・精神的負担を大幅に軽減し、災害関連死を防ぎます。

居住性の
向上



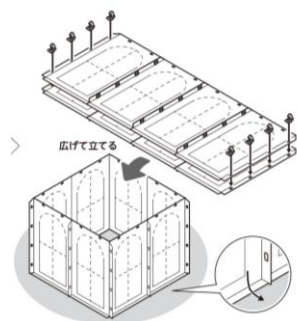
運用効率の
向上



災害関連死の削減



小学生でも組立て可能な革新的な簡易設置システム

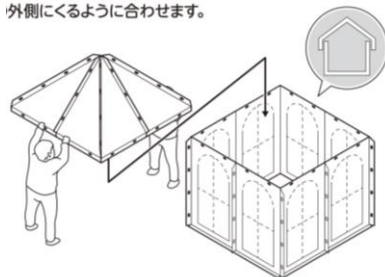


①壁・屋根パーツを
組立てて起こす

**壁パーツと屋根パーツを床に
並べる**

ダンボール製のパーツを指定の位置に配置します。軽量で扱いやすく小学生でも運搬可能な設計です。

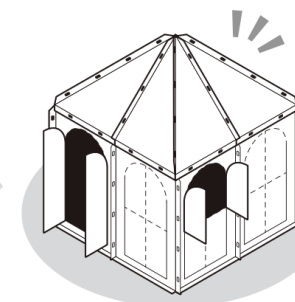
外側にくるように合わせます。



②壁の上に、屋根をのせる
※2人以上で作業

**専用留め具で
パチンパチンと接続**

工具不要で、専用の留め具を使って各パーツを固定します。特別な技術や訓練は一切不要です。



③好きなところに窓と
ドアを開け完成

わずか15分で施工完了

大人2人での作業を想定していますが、小学生2人でも組立て可能なシンプルさを実現しています。



インスタントハウス



日常でも非日常でも活用可能な居住空間

- ◆日常から様々な用途で活用し、
発災時には即時に使える避難場所へ
- ◆高い断熱性能により、夏涼しく、冬暖かい
- ◆風・雪・地震に強い

〔耐風〕	風速80m/s
〔耐雪〕	屋根上積雪40cm(耐雪仕様60cm)
〔耐震〕	震度6強の地震で崩壊しない
- ◆総重量約300kg未満 人力で移動可能
- ◆分割タイプ（パージ型）
6分割し、トラックで運搬可能なパーツ加工も可能



モバイルインスタントハウス

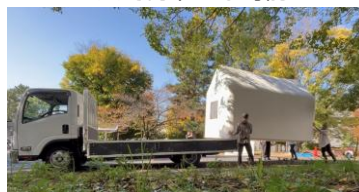


必要なときに必要な場所へ持ち運べる防災倉庫

- ◆トラックに載せて公道も走行可能
必要な場所へすぐに持ち運べる空間として機能
- ◆平時は手軽に設置できる防災備蓄倉庫、
災害時には救護所や支援本部として活用可能
- ◆高い断熱性能により、夏涼しく、冬暖かい
- ◆風・雪・地震に強い

〔耐風〕	風速60m/s
〔耐雪〕	屋根上積雪40cm(耐雪仕様60cm)
〔耐震〕	震度6強の地震で崩壊しない
- ◆総重量約120kgで設置も簡単

車で運び、荷下ろし
3～4人で荷下ろし可能



設置完了
ベグなどで地面に固定



インスタントルーム（段ボール製）



避難所での災害関連死を防ぐ快適な空間設計

- ◆内閣府「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」推奨品
- ◆『新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）』の対象商品
- ◆断熱性・遮音性・プライバシーの保護において
高い性能を実現
- ◆わずか15分で完成。
小学生でも組立て可能な革新的な簡易設置システム
- ◆パーツの組み合わせにより、1人単位、家族単位での
運用など、使用人数に合わせた空間構成が可能



会社概要 (2026年4月現在)



代表取締役 北川 啓介

インスタントハウス 創案者
名古屋工業大学大学院工学研究科教授
高度防災工学センター教授



代表取締役 井上 高志

株式会社LIFULL創業者
株式会社LIFULL代表取締役会長



取締役COO 山中 典



取締役CTO 山田 義剛

株式会社LIFULL ArchiTech

商号

株式会社LIFULL ArchiTech
(ライフル アーキテック)

本社所在地

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-4-4

代表取締役

北川 啓介、井上高志

主な事業内容

新しい住環境、建築技術の研究・開発、
特許の管理

資本金など

4,000万円（資本準備金を含む）

株主構成

株式会社LIFULL（90%）、北川 啓介（10%）

※その他施設

国立大学法人名古屋工業大学との共同研究契約書に基づき、名古屋工業大学24号館106室にて研究を実施。

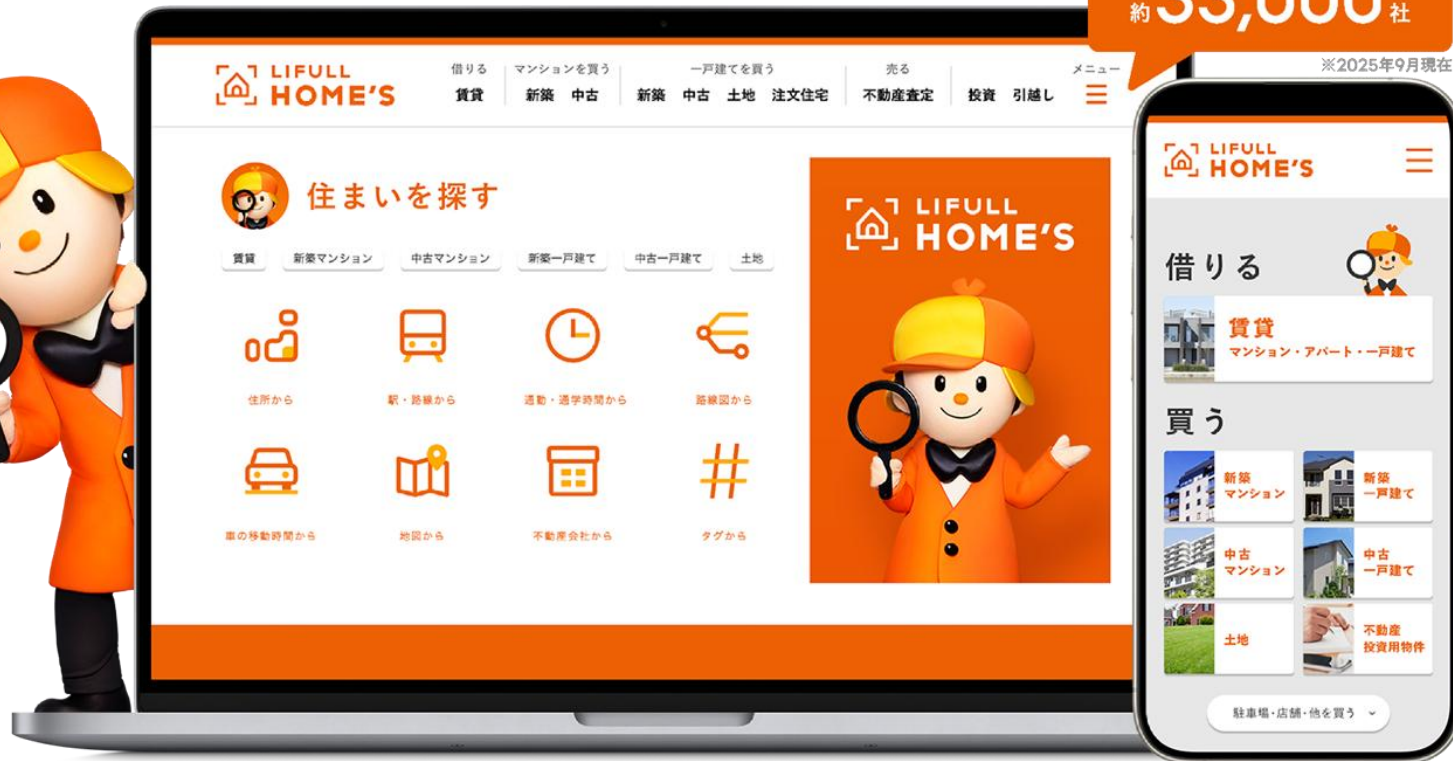
会社名	株式会社 LIFULL
証券コード	2120（東京証券取引所 プライム市場）
代表者	代表取締役会長 井上高志 代表取締役社長執行役員 伊東祐司
沿革	1997年3月12日 設立 2006年10月 東証マザーズ上場 2010年3月 東証一部へ市場変更 2022年4月 東証プライムへ移行
資本金	9,726百万円
連結従業員数	1,037名（うち、臨時雇用者数119名、海外子会社108名）
主な子会社	LIFULL senior 健美家株式会社 その他LIFULL関連会社





「叶えたい!が見えてくる。」を
コンセプトに掲げる日本最大級の
不動産・住宅情報サービス

ユーザーの物件探しと全国の不動産会社など
住宅業界・不動産業界の各社の集客をサポート



LIFULL HOME'Sの特徴

強力な集客力

SEO対策やプロモーションに注力
また外部の提携ポータルサイトにも自動掲載

Rakuten不動産 / ニフティ不動産 / goo 住宅・不動産
NAVITIME / HOME4U / マンションレビュー / 賃貸スタイル

情報の探しやすさ

豊富な検索方法で一人ひとりに
あった住まい探しを実現

駅・路線から 車の移動時間から
地図から # したい暮らしのタグから 等

様々なランキングで一位を獲得!

物件鮮度
No.1

株式会社ブラグによる不動産ポータル
サイトの物件鮮度調査においてNo.1 ※1

PCでの利用者数
No.1

不動産・住宅情報の総合サイトにおける
PCでの年間利用者数がNo.1 ※2

賃貸領域で総合
No.1

Gomez賃貸不動産情報サイトランキング・
スマホサイトランキングで総合No.1 ※3

売買領域で総合
No.1

Gomez売買不動産情報スマホサイト
ランキングで総合No.1 ※4

不動産売却領域で
品質評価2項目
No.1

2021年一括査定サイト訪問査定率ランキングのうち
訪問査定率・通電後訪問査定率でNo.1 ※5

地方創生関連



空き家バンク

事業

各地の空き家バンクや、自治体が持っている
空き家・空き地の情報サイト



事業

空き家の再生を軸に、日本の新しいライフスタイルの構築に
向けた取り組みを独自の視点で推進



子会社

古家・空家をリノベーションし、宿泊サービスと不動産販売を
行う「LIFULL STAY」事業



子会社

ファンド運営事業（LIFULL 地域創生ファンド）融資事業、
投資事業、空き家利活用事業等の運営



子会社

斬新な建築手法を用いた建築シリーズ「インスタントプロダ
クト」をはじめとした新しい住環境の研究・開発、特許の管理

